

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



さんない たかどの
菅谷たたら山内(高殿)

日本のものづくりの原点
「たたら製鉄」を活かした体験観光

うんなん
島根県雲南市
が応援するふるさと名物

たたら製鉄を活かした体験観光



たたら製鉄(小たたら)



鉄の歴史村見学

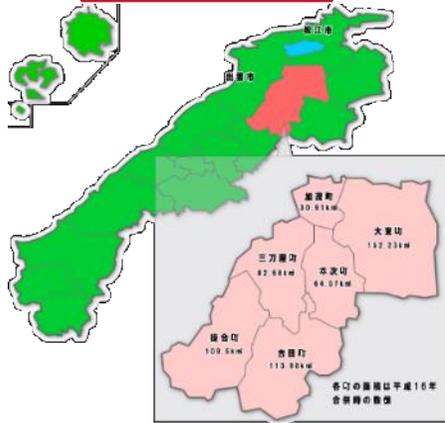


ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

うんなん
島根県雲南市

地域の
プロフィール



雲南市は、島根県の東部に位置し、南部は広島県に接しています。豊かな森林や河川、滝など、中山間地域ならではの豊かな自然環境に囲まれています。桜や蛍が息づく自然と市民の生活が融合したまちづくりや、地域資源を活かした温泉施設、観光施設が整備され、水と緑が醸し出すうるおいのある穏やかな印象をもった美しい地域です。

また、ヤマタノオロチ退治を中心とした出雲神話の舞台であるとともに、国宝に指定された銅鐸やたたら製鉄など、地域特有の歴史や文化をもつ地域です。また、農村景観や神楽など、暮らしに根ざした農村文化が豊富であり、日本のふるさとの原点ともいえるべき歴史・文化が息づいています。



ひいかわていほうさくらなみき
さくら名所百選「斐伊川堤防桜並木」



りゅうず
日本滝百選「龍頭が滝」



さんのおじ
日本棚田百選「山王寺の棚田」



伝統芸能「出雲神楽」

1

活用する 地域資源

◆ 「たたら製鉄」「鉄の歴史村」「菅谷たたら山内」

「たたら製鉄」とは砂鉄と木炭を土で作った炉の中で反応させ、鉄を得る日本古来の製鉄方法です。

中国地方一帯では、古くから「たたら製鉄」が盛んに行われ、江戸時代の隆盛期には全国の鉄生産量の7～8割を出雲地方で産出しました。その中心的な役割を担った田部家は、雲南市吉田町を拠点にたたら経営を行っていました。

田部家が経営した「菅谷たたら山内（山内＝たたら製鉄を営む場所の総称）」の中心にある「菅谷高殿」は1751年から1921年までの170年間にわたって操業が続けられました。昭和61年に吉田村（現雲南市吉田町）はたたら製鉄の歴史・文化等を伝承する目的で「鉄の歴史村」を宣言し、たたら製鉄に関する博物館や町並み整備を行っています。



2

ふるさと名物

◆ 「たたら製鉄」を活かした体験観光

長い間「たたら製鉄」の技術は秘伝とされてきましたが、雲南市では、研究や試行の結果、「近代たたら」及び「小たたら」として、各種研修や観光で「たたら製鉄」が体験できるようになりました。

「近代たたら」は、本来、三日三晩かかるたたら製鉄を一昼夜で体験できるプログラムであり、ものづくり企業の研修の場としての取り込みやその見物をルートに入れたツアーの造成などを期待しています。

一方、「小たたら」は、小型化した炉により、半日でたたら製鉄体験ができるもので、小規模の企業研修や修学旅行商品としての発展を目指しています。

その他、たたら製鉄にまつわる鍛冶体験やガイドの育成などと併せ、関係団体とともに「たたら製鉄」の体験観光の充実を図ります。



たたら製鉄(近代たたら)



たたら製鉄(小たたら)



鉄の歴史村(鍛冶工房)



菅谷たたら山内(高殿内でのガイド)

1

まちの取り組み

◆ 「たたら」への追い風を活かした観光地づくり

平成28年3月に策定した雲南市観光振興計画では、日本遺産認定、映画「たたら侍」の公開及びJR西日本「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の立ち寄り地決定を受け、この5年間で「たたら」を雲南市の観光の柱に育てていくこととし、今後、来訪者の満足度を高めるためにハード整備やガイド育成などを進めていきます。

2

地域の取り組み

◆ 鉄の道文化圏推進協議会の取り組みと日本遺産

たたら関連の文化財や博物館等を保有する安来市、奥出雲町とともに昭和62年12月に「鉄の道文化圏推進協議会」を設立し、連携した情報発信やイベント等を実施してきました。平成28年4月には、「出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～」として、日本遺産に認定されており、さらなる整備や情報発信を行います。

◆ 映画「たたら侍」を活かした観光PR

島根県出身の錦織良成監督による「たたら製鉄」を題材にした映画「たたら侍」が平成29年5月に全国公開されます。

雲南市を含めた県東部を中心に撮影が行われました。今後官民挙げて、映画公開に合わせ「たたら製鉄」やロケ地の観光PRを行います。

火の色 里の音 人つなぐ

